

## 美浜区打瀬地区区民対話会 議事要旨

1 日時 平成26年7月20日(日) 9:30~11:40

2 場所 幕張ベイタウン地域連携センター

3 参加者 区民 24人、区職員 7人

4 テーマ 地域の将来像と担い手

### 5 議事内容

(1) 開会及び参加者自己紹介

(2) 区長講話

配布資料により、地域コミュニティ及び打瀬地区の現状について説明した。

(3) 意見交換

主な意見は以下のとおり。

#### ■打瀬地区の現状、将来像に関する意見

- ・地域の主たる構成メンバーが児童生徒や保護者の年代であることを踏まえると、地域において学校の果たす役割は大きい。
- ・打瀬地区には保護司がおらず、他地区の保護司に応援してもらっている。一方で、打瀬地区での保護司の需要は増えており、地域に密着した保護司が求められている。
- ・高齢者や子供の居場所がないと感じている。児童館のような場所を市から提供してもらえると良い。
- ・ベイタウンを子供たちの故郷にしたい。今の子供たちが将来戻ってくる街にしたい。

#### ■担い手不足に関する意見

- ・担い手不足は多くの地域団体に共通する課題。団塊の世代の参加が進んでおらず、いずれの地域団体も担い手確保に苦慮している。
- ・地域団体の活動を認識していない住民が多く、地域団体に支えられているという認識が希薄なのではないか。多くの住民を巻き込んで活動していくことが、担い手確保のきっかけとなる。

- ・担い手不足は、気軽にお願いできるネットワークがないのも一因と感じる。男性だけでなく、女性に参加いただくのもよい。

#### ■地域コミュニティに関する意見

- ・地域コミュニティは、住民同士が行事や会合等で顔を合わせ、一緒に活動する中で形成されていくもの。
- ・手話教室、健康ウォーキング、社協のサロンなど、住民の地道な活動が、地域団体のトップと一般住民との乖離を埋め、次の担い手育成につながる。
- ・引っ越してくる方に、街を案内するパンフレットを配る、また、街を案内するボランティアがいると、つながりが増えて安心して生活できる。

#### ■行政に関する意見

- ・区民対話会は区の仕事、地域運営委員会は本庁の仕事、という縦割りではなく、行政の中で連携してほしい。その方が地域の力を活かすことにつながる。
- ・区は、街全体の課題を住民と共有し、住民に寄り添ってほしい。
- ・市から地域団体に丸投げされるケースもある。市は、調査し課題を認識したうえで、必要であれば地域に依頼するようにしてほしい。
- ・住民と行政とでは、同じ統計データを見ても読み方や結論が異なる。区民対話会は、両者の意見をすり合わせる場と考える。
- ・街のにぎわいや発展には商店街の果たす役割は大きい。区はこの現状を認識し、施策を行ってほしい。
- ・魅力ある街を保ちたい一心で、ベイトウン協議会から要望書を出した。すべて行政に頼るわけではなく、我々も努力をするので、この部分だけはというお願いをしている。この思いを汲んでほしい。

#### (4) 閉会